

病院・薬局実務実習における漢方教育のアンケート調査報告

山田 陽城*

はじめに

我が国の疾病構造の大きな変化や超高齢化社会の到来などを背景に、現在我が国の医師の70%以上が何らかの形で漢方薬を治療に用いており、現代医療における漢方薬の役割は益々重要な位置づけとなっている。すなわち漢方薬は全人的医療としての本来の役割や進化した西洋医学をもってもなお治療が困難な症候への応用に加え、新薬の副作用の改善などの西洋医学の補完的な役割も果たしている。このような状況のもと2001年度より医学教育カリキュラムに「和漢薬を概説できる」という項目が取り入れられ、その改定を経て現在では国公立大学の全医学部において漢方教育が導入されている。一方、薬学教育コアカリキュラムにおいては当初、化学系薬物の「自然が生み出す薬物」の項目に漢方薬と漢方医学が加えられていた。しかし6年制薬学教育への移行後の改定コアカリキュラムにおいて漢方は「医療薬学」に位置付けられたことから、より医療に直結した漢方医薬学の教育が求められている。本学の漢方教育は3年次までの低学年での教育が主体であるが、今後高学年での臨床に繋がる教育がより重要であるため、過去3年間の実務実習における漢方教育の実情について実習終了後の学生を対象にアンケート調査を行ったので、その結果の概要について報告する。

アンケート調査方法

- 1) アンケート調査責任者：山田陽城
- 2) アンケート調査対象者
実務実習終了後の本学薬学部5年次学生（任意、無記名）
- 3) 実務実習期間
平成26年度（III期のみ）、27年度（I, II, III期）28年度（I期、II期）
- 4) アンケートの設問内容
 - ①実習先にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載してください。
 - ②漢方処方箋の服薬指導で気をついた点があれば記載してください。
 - ③実習先で取り扱っていた漢方処方名を記入してください。

平成26年度は調査時に実習先を記入してもらったが、平成27年度、28年度は実習先を明確にするため病院、薬局の実習先ごとに調査を行った。

*1 薬学部和漢薬物学講座

結果

平成26年度

1. 実習先にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載して下さい。

① 【病院】(アンケート対象者：107名) 回答率 58%

講義・演習があった：21件 (回答者の33.3%)

講義・演習がなかった：42件

無回答：44件

—「講義・演習があった」21件について—

漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：4件 (回答者の6.3%)

講義等があったもの：11件 (回答者の17.5%)

漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：6件

② 【薬局】(アンケート対象者：52名) 回答率 80%

講義・演習があった：32件 (回答者の80%)

講義・演習がなかった：8件

無回答：12件

—「講義・演習があった」32件について—

漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：8件 (回答者の20%)

講義等があったもの：15件

漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：9件

2. 漢方処方服薬指導で気がついた点があれば記載して下さい。

① 【病院】(アンケート対象者：107名) 回答率 45.8%

服薬指導有り：28件 (回答者の57%) 内容は省略

服薬指導なし：21件

無回答：58件

・【薬局】(アンケート対象者：36名) 回答率

服薬指導有り：13件 (回答者の59%) 回答率 61%

服薬指導なし：9件

無回答：14件

平成27年度

1. 【病院】アンケート対象者 360名 [I期 139名/II期 136名/III期 71名/時期不明 14名]

設問1. 実習先にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載してください。

回答率 52.5%

講義・演習があった：26件 [I期 11件/II期 14件/III期 1件/0件] (回答者の13.8%)

講義・演習がなかった：163件 [I期 62件/II期 56件/III期 36件/9件]
無回答：171件 [I期 66件/II期 66件/III期 34件/5件]
－「講義・演習があった」26件について－
漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：0件 [I期 0件/II期 0件/III期 0件]
講義等があったもの：26件 [I期 11件/II期 14件/III期 1件]
漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：0件 [I期 0件/II期 0件/III期 0件]

設問2. 漢方処方服薬指導で気がついた点があれば記載して下さい。

回答率 39.4%

服薬指導有り：40件 [I期 15件/II期 13件/III期 10件/2件] (回答者の28%)
内容は省略

服薬指導なし：102件 [I期 39件/II期 38件/III期 19件/6件]

無回答：218件 [I期 85件/II期 85件/III期 42件/6件]

2. 【薬局】アンケート対象者：364名 [I期 156名/II期 158名/III期 37名/時期不明 13名]

設問1. 実習先にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載してください。回答率 65.4%

講義・演習があった：168件 [I期 76件/II期 75件/III期 11件/6件] (回答者の70.6%)

講義・演習がなかった：70件 [I期 26件/II期 34件/III期 8件/2件]

無回答：126件 [I期 54件/II期 49件/III期 18件/5件]

－「講義・演習があった」について－ (複数回答あり)

漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：54件 [I期 28件/II期 23件/III期 2件/1件] (回答者の31.4%)

漢方薬局見学・実習等：20件 [I期 11件/II期 8件/III期 0件/1件]

講義等があったもの：65件 [I期 26件/II期 32件/III期 5件/2件]

漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：33件 [I期 12件/II期 15件/III期 4件/2件]

設問2. 漢方処方服薬指導で気がついた点があれば記載して下さい。

回答率 44.5%

服薬指導有り：97件 [I期 39件/II期 43件/III期 13件/2件] (回答者の60%)
内容は省略

服薬指導なし：65件 [I期 27件/II期 33件/III期 3件/2件]

無回答：202件 [I期 90件/II期 82件/III期 21件/9件]

平成28年度

1. 【病院】アンケート対象者：306名 [I期151名/II期155名]

設問1. 実習先名にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載してください。

回答率 53.6%

講義・演習があった：25件 [I期12件/II期13件] (回答者の15.2%)

講義・演習がなかった：139件 [I期66件/II期73件]

無回答：142件 [I期73件/II期69件]

—「講義・演習があった」25件について—

漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：2件 [I期0件/II期2件] (回答者の7.6%)

講義等があったもの：23件 [I期12件/II期11件]

漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：0件 [I期0件/II期0件]

【主な講義・演習の例】

- ・入院および外来患者に対する漢方処方の説明
- ・胃瘻患者への対応
- ・漢方薬（エキス剤）の服用法
- ・OTC製剤と漢方薬の併用での注意
- ・新薬と漢方製剤の併用での注意
- ・漢方専門外来の見学
- ・漢方製薬企業のMRによる大建中湯、六君子湯の作用についての講義
- ・透析患者の筋肉けいれん（こむら返り）の防止

設問2. 漢方処方の服薬指導で気がついた点があれば記載して下さい。

回答率 46.7%

服薬指導有り：37件 [I期17件/II期20件] (回答者の25.8%)

服薬指導なし：106件 [I期54件/II期52件]

無回答：163件 [I期80件/II期83件]

【主な服薬指導例】

- ・漢方薬の空腹時服用の説明
- ・甘草による偽アルドステロン症（カリウム値の確認など）のチェック
- ・併用薬の確認を通じた甘草による副作用の確認
- ・漢方製剤の味について
- ・入れ歯の患者への対応
- ・口内炎に対する半夏瀉心湯の使い方
- ・飲みにくい患者への対応（アイスボールの応用など）
- ・抗がん剤の副作用への対処

2. 【薬局】アンケート対象者：353名 [I期173名/II期180名]

実習薬局の種類

薬局実習アンケート対象者：353名 [I期173名/II期180名]

【I期：一般薬局17名 /調剤薬局131名 /無回答25名】

【II期：一般薬局9名 /調剤薬局134名 /無回答37名】

設問1. 実習先にて漢方薬の使用についての講義、演習等があったら記載してください。

回答率 67.1%

講義・演習があった：166件 [I期78件/II期88件] (回答者の70%)

講義・演習がなかった：71件 [I期38件/II期33件]

無回答：116件 [I期57件/II期59件]

—「講義・演習があった」について— (複数回答あり)

漢方薬局製剤作成の実習のあったもの：51件 [I期26件/II期25件] (回答者の27.3%)

漢方薬局見学・実習等：20件 [I期14件/II期6件]

講義等があったもの：80件 [I期36件/II期44件]

漢方製薬企業の工場見学が実施されたもの：36件 [I期18件/II期18件]

【主な講義・演習の例】

- ・市薬剤師会での講義、漢方薬の調製など
- ・漢方専門薬局での集合研修
- ・刻み生薬調剤と試飲の実習
- ・薬局製剤の講義
- ・証の読み取り方
- ・OTC漢方製剤と処方された漢方製剤の相違
- ・グループワークによる症例検討
- ・高齢者や女性疾患での漢方治療
- ・傷寒論について

設問2. 漢方処方の服薬指導で気がついた点があれば記載して下さい。

回答率 42.8%

服薬指導有り：95件 [I期42件/II期53件] (回答者の63%)

服薬指導なし：56件 [I期26件/II期30件]

無回答：202件 [I期105件/II期97件]

【主な服薬指導例】

- ・服用時期 (食間など) について
- ・服用法
- ・複数の漢方処方への対応
- ・甘草の副作用 (低カリウム血症の確認)

- ・コンプライアンスについて
- ・西洋薬と比べ漢方薬は患者さんが症状を話してくれないと医師の処方意図が判りにくく服薬指導が困難なこと（診療科からの推測など）
- ・学校でも学ばないような副作用や相互作用など
- ・併用薬の確認
- ・うがい薬としての服用
- ・薬局製剤における指導箋の存在
- ・医師による用法の相違
- ・煎じ方の説明
- ・漢方の知識があれば患者の体調にあった漢方処方を選ぶことができること
- ・サプリメントや風邪薬の併用時の注意
- ・同一の漢方薬でも処方目的により服用の仕方が異なる場合のあること
- ・小児の漢方薬の服用における工夫
- ・横になっていることが多い高齢者へのエキス顆粒投与での工夫

3. 平成28年度の実務実習先で取り扱っていた漢方処方名

平成28年度の病院または薬局で実務実習時に取り扱っていた漢方処方名を表1に示す。

病院、薬局とも上位処方では医療用製剤の売り上げとほぼ一致していたが、薬局のほうがより多くの種類の漢方処方が用いられていたことから、漢方専門医師による処方の調剤や薬局製剤などを通じ、個々の患者に対しより漢方本来の用い方がなされていることが推定された。（平成26、27年度の結果については紙面の都合で省略したが、大よその傾向は28年度と類似していた。）

考察

3年間にわたる実務実習先での漢方教育についての実情調査の結果、27、28年度は病院での場合はアンケート回答者のおよそ15%以下しか漢方にかかわる教育は行われていなかったが、薬局の場合には70%以上で何らかの形で漢方教育が行われていることが解った。これは薬局の場合には医療用漢方製剤としての処方調剤に加え、薬局製剤やOTC薬としての一般用漢方製剤や生薬処方の調剤など多量の漢方薬の取り扱いがあることによること、薬局漢方製剤においては個々の患者の症候に適した漢方薬を薬剤師が選び用いられていること等が多様な処方内容から推定された。一方、病院においては漢方を本格的に用いることのできる医師がどの程度いるかにより、その取扱いが限られていることが、その服薬指導の少なさからも推定された。取り扱われていた漢方薬の内訳は病院、調剤薬局とも医療用漢方製剤が主なものであろうことは、多用された漢方処方名が医療用漢方製剤の売り上げ上位のものとはほぼ一致していることから推定できるが、その多くは病名対応での漢方処方の一律的な用い方によることが推定され、そのため服薬指導も安易となっていることも示唆された。しかしながら、病名対応での漢方処方の一律的な用い方は新たな副作用事例が発生することにも注意が必要である。また、昨今新薬との併用や健康食品の同時摂取での相互作用による種々の副作用の発生例もあり、本来の漢方薬の効果を安全かつ最大に引き出すためにも薬剤師の積極的な

関与が必要である。今回の調査結果から実務実習における漢方教育の内容は千差万別であり、その教育が漢方製薬企業へ丸投げされている場合もあった。漢方の実習を望む学生であっても実務実習にあたって学生は実習先の教育内容の詳細が事前に判りにくい問題もあり、教育の均質化の点や薬剤師国家試験の出題範囲に漢方が含まれていることから、大学として医療にかかわる漢方教育のさらなる整備を図る必要があることも示された。本結果はあくまでも学生の視点からの任意の回答によるアンケート調査であるが、今後の漢方教育の在り方を考える参考の一つとなるものと思われる。

謝辞

本アンケート調査の実施に当たりお世話になりました本学病院薬局実務実習委員会委員長の畝崎榮教授と事務局実務実習室課長の杉山利一氏に感謝いたします。

表1 実習先で取り扱っていた漢方処方名 (平成28年度)

①病院(回答275件、無回答31件)

1)	大建中湯	182
2)	芍薬甘草湯	83
3)	抑肝散	54
4)	牛車腎気丸	27
5)	葛根湯	25
6)	六君子湯	25
7)	補中益気湯	15
8)	五苓散	13
9)	小青竜湯・半夏瀉心湯	11
10)	八味地黄丸	7
11)	当帰芍薬散・半夏厚朴湯・十全大補湯	6
12)	加味逍遙散・大黃甘草湯・柿蒂湯	5
13)	麦門冬湯・防風通聖散・ブシ末	4
14)	抑肝散加陳皮半夏	3
15)	麻黄湯・小柴胡湯・柴苓湯	2
16)	桂枝茯苓丸・桂枝加芍薬湯・大柴胡湯 乙子湯・四君子湯・十味敗毒湯 黄連解毒湯・当帰四逆加呉茱萸生姜湯 ヨクイニン・安中散・加味帰脾湯 柴胡桂枝湯・桂枝加朮附湯・茵陳蒿湯 甘草瀉心湯・四逆散	1

②薬局(回答335件、無回答18件)

1)	大建中湯	202
2)	葛根湯	174
3)	芍薬甘草湯	140
4)	抑肝散	87
5)	小青竜湯	72
6)	六君子湯	38
7)	五苓散	35
8)	麻黄湯・麦門冬湯・加味逍遙散	33
9)	当帰芍薬散	32
10)	牛車腎気丸	30
11)	半夏厚朴湯	25
12)	防風通聖散	20
13)	補中益気湯	19
14)	桂枝茯苓丸	16
15)	小柴胡湯・八味地黄丸	15
16)	ヨクイニン	13
17)	半夏瀉心湯	11
18)	乙子湯・十味敗毒湯	10
19)	十全大補湯	8
20)	柴胡桂枝湯	7
21)	猪苓湯・葛根湯加川芎辛夷・桔梗湯	6
22)	防己黄耆湯・麻黄附子細辛湯 小建中湯・桂枝加朮附湯	5
23)	安中散・四物湯・麻子仁丸 抑肝散加陳皮半夏・女神散	4
24)	柴朴湯・大柴胡湯・大黃甘草湯・柴苓湯 清肺湯・疎経活血湯・加味帰脾湯 ブシ末・温清飲・茵陳蒿湯・五虎湯	3
25)	釣藤散・小柴胡湯加桔梗石膏・桂枝湯 四逆散・呉茱萸湯・清暑益気湯・潤腸湯 黄耆建中湯	2
26)	桂枝加芍薬湯・辛夷清肺湯・薏苡仁湯 黄連解毒湯・竹茹温胆湯・柴胡加竜骨牡蠣湯 柿蒂湯・桂枝茯苓丸加薏苡仁・紫雲膏 黄連湯・白虎加桂枝湯・清上防風湯・神秘湯 六味丸・苓桂朮甘湯・滋陰降火湯・川芎茶調散 立効散・五積散・柴胡桂枝乾姜湯 桃核承気湯・越婢加朮湯	1